



ベクター・ジャパン株式会社 様

ポリコムとSkype for Businessを連携、 グループの全スタッフをカバーする ワールドワイドなビデオ会議ネットワークが完成。

▶ドイツ本社と東京や大阪などの 各拠点を結ぶ 多地点会議を実現

▶Skype for Businessで 各スタッフがいつでも ビデオ会議に参加可能

▶ISDNゲートウェイにより 取引先の拠点とも 映像で コミュニケーション

自動車電子化の急速な進展に伴い、自動車メーカーや自動車部品会社では電子制御部品の開発に力を注いでいます。そのためのツール・ソフトウェアコンポーネント・サービスを、統合されたソリューションとして各社に提供しているのが、ドイツに本社を置くベクターグループ。1988年の誕生以来、着実に成長を遂げる同グループの社員数は2016年には1,700名を越え、業界屈指の地位を確立しています。ベクターグループはヨーロッパ、アメリカ、アジアなど12ヶ国に21拠点を構え、その日本法人として発展の一翼を担っているのがベクター・ジャパン株式会社様です。

数年前からドイツ本社及び日本国内の本支社間のミーティングにポリコムのビデオ会議システム(以下ポリコム)を駆使してきましたが、2017年1月に機器のリプレイスを行い、Skype for Business(以下Skype)との連携などを含めた新たな活用の道を拓きました。

VECTOR >

ベクター・ジャパン株式会社

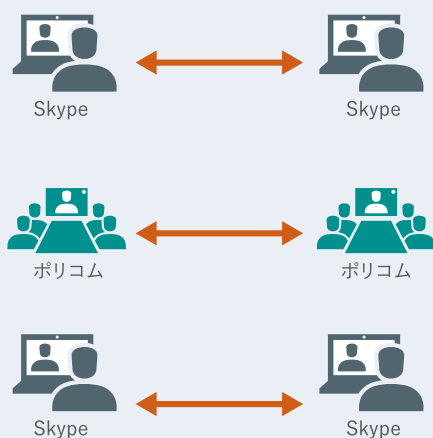
本社所在地:
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20
天王洲郵船ビル16F
設立:1998年
ウェブサイト:
www.vector-japan.co.jp

世界中の自動車および関連業界のメーカーとサプライヤーに対し、組込システムを開発するためのツール、ソフトウェアコンポーネント、サービスなどの開発プラットフォームを提供するベクターグループ。その一員として、開発支援装置の販売ならびに技術サポート、開発支援装置のカスタマイズなどを担う日本法人です。

■導入システム一覧

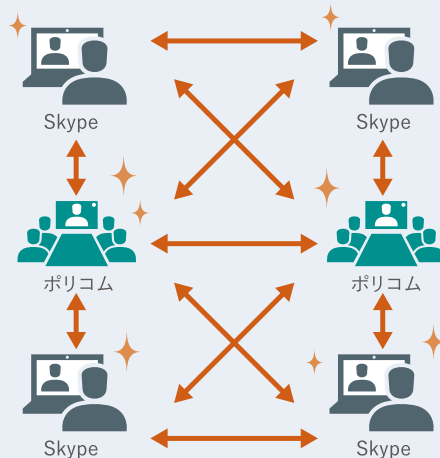
- ビデオ会議システム(各拠点端末)
- RealPresence Group 500
EagleEye IV-12xカメラモデル
 - RealPresence Groupシリーズ用
RTV/CCCPライセンス
 - RealPresence Groupシリーズ用
ISDNゲートウェイ
 - HDX 8000
 - HDX 7000
 - RealPresence Desktop

リプレイス前



「ポリコムによるミーティング」と「Skypeによるミーティング」が混在。相互に参加できないデメリットがありました。

リプレイス後



ポリコムとSkypeを連携したことで、会議室の間で行われているビデオ会議に、各スタッフがいつでもどこからでも参加可能に。

各スタッフがいつでもどこにいても
自分のパソコンから
ビデオ会議に参加できるので、
グループ内の情報伝達・共有が
よりスムーズになりました。



Soichi Oikawa

及川 創一 様
ベクター・ジャパン株式会社
情報システム部/総務部
プロセス改善室
マネージャー



Masatoshi Hatusgai

初谷 正利 様
ベクター・ジャパン株式会社
情報システム部

▶ ドイツ本社と緊密につながるために、 数年前からポリコムを活用

ベクターグループでは、車載LAN規格であるCAN(Controller Area Network)をはじめとするバスシステム/プロトコルを使用したネットワーク開発に対し、開発ツールと各種ソリューションを提供。ヨーロッパではほとんどの自動車メーカーが同社のソフトを導入しています。主にソフトの開発は本社のあるドイツで行われ、ベクター・ジャパン様は取引先の開発支援装置の販売やカスタマイズ、技術サポートがメイン業務。それだけに、ドイツ本社との緊密なコミュニケーションは必須です。

同グループでは、以前からドイツ本社と日本国内の本社社を

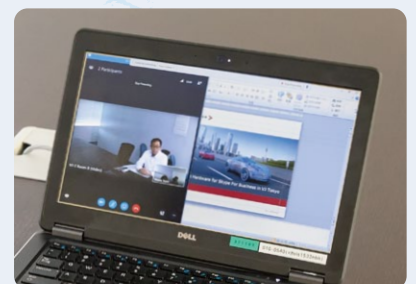
結びビデオ会議を行ってききましたが、数年前にシステムをポリコムに入れ替えました。

「機器の採用に関してはドイツ本社で評価を行い、各国の拠点に展開しますが、ポリコムの優れた品質はもちろん、世界的に信頼性の高いブランドであることも選定の理由になっていると考えます。ドイツ本社とは毎日のようにビデオ会議を実施しており、ポリコムはかなり重要なコミュニケーションツールとして機能しています」と及川氏は話します。

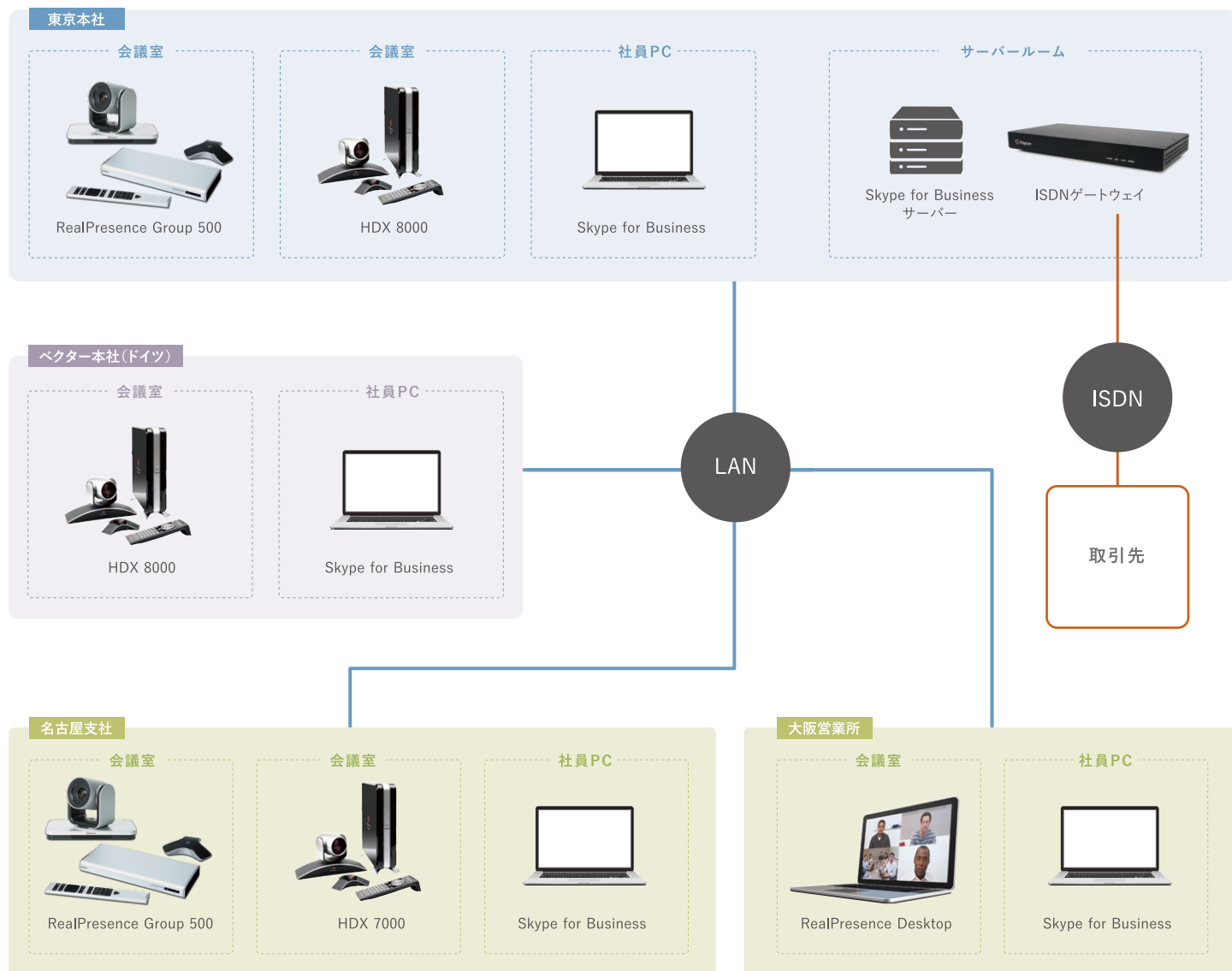
ドイツ本社と日本各拠点で
毎日のようにビデオコミュニケーションを実施



グループの全スタッフが自分のパソコンから、Skypeでいつでもポリコムのビデオ会議に参加できる。



[システム概要]



▶ ポリコムとSkypeの連携により、グループ内のコミュニケーションがシンプルに。

2016年秋、ベクターグループでは、全スタッフが自分のパソコンでSkypeを活用できる環境を構築。いつでもどこにいてもスタッフ同士が自在につながったり、複数人でミーティングを行ったりすることが可能になりました。

「しかし、運用している中で大きな課題が生じました。グループ内で『ポリコムによるミーティング』と『Skypeによるミーティング』が混在してしまったのです。Skype同士で少人数のミーティングには参加できても、大人数のビデオ会議に適しているポリコムにはその端末がない場所からは参加できません。その状況を早急に解消する必要がありました。」

結果、2017年1月に東京本社と名古屋支社の端末をRealPresence Groupシリーズにリプレイスするのに合わせ、ポリコムとSkypeとの連携を可能にする「RTV/CCCPライセンス」

(オプション)を導入しました。

「ポリコムでもSkypeでも同じビデオ会議に参加できるようになり、グループ内のコミュニケーションのスタイルがとてもシンプルになりました。特に、ドイツに駐在する日本人スタッフと、いつでも必要な時にFace to Faceでコミュニケーションがとれるようになったことは収穫でした」と初谷氏。

アプリケーションを扱う本社にとって、Skypeの利便性をビデオ会議に活かせることも大きなメリットです。

「ソフトウェアの画面をSkypeで共有しながらミーティングを行うケースは少なくありません。開発画面を見せて、『ここはこうなっている』と説明したほうが話は早いのです」と及川氏。ポリコムとSkypeの連携は、同社のビデオ会議を大きく変革しました。

▶ RealPresence Groupシリーズに刷新後も、ISDN接続で取引先の拠点とリンク。

今回のリプレイスでは、RealPresence GroupシリーズでISDN通信によるビデオ会議を実現する「ISDNゲートウェイ」の採用も一つのポイントでした。グループ内では独自のネットワークによりビデオ会議を行っていますが、外部との接続にはセキュリティの理由もあってISDNを利用しています。

「以前使用していたHDX 7000はISDNに対応していたので、お客様の拠点とISDN回線でリンクし、ビデオ会議で技術サポートなどを行ってきました。リプレイス後もお客様のサポートにポリコムを継続的に活用するためにISDNゲートウェイを採用しました」と及川氏。

「リプレイスによって画質は見違えるように鮮明になり、相手の細かな表情も読み取れ、グループ内のコミュニケーション環境はより充実しました。また、プリンストンのサポート力やこちらの要望に対するレスポンスの速さと正確さは高く評価しています」と初谷氏。

今後もプリンストンはお客様のビジネスの発展に貢献する最適なソリューションと最善のサポートをご提供してまいります。



ISDNゲートウェイの採用により、取引先の拠点ともISDN接続でリンクし、映像を活かした技術サポートなどを提供。

■ RealPresence Groupシリーズ用 RTV/CCCPライセンス

RealPresence GroupシリーズのSkype for Business/Lync環境への統合を可能にする、Microsoft UC環境対応製品です。

■ RealPresence Groupシリーズ用 ISDNゲートウェイ



ISDN通信による セキュアなビデオ会議を実現

RealPresence GroupシリーズでH.320通信を行うための製品です。お客様やパートナー企業など外部のネットワークにISDN回線を介して接続し、セキュアなビデオ会議によるコミュニケーションを可能にします。最大1080p30フルHD映像、22kHz広帯域音声でのビデオ会議をサポート。1台のISDN Gatewayを最大4台のRealPresence Groupシリーズで共有することができます。

ベクター・ジャパン様 ▶ ポリコム活用のポイント



海外にある本社と
頻りに映像で
コミュニケーション



各スタッフの
PC(Skype)と
ポリコムの接続が可能



ISDN接続による
取引先との
ビデオ会議も実現



資料も画面に
表示させて
円滑な会議を推進

販売代理店 | リコー・ジャパン株式会社 東京支社 城南営業部 〒140-0014 東京都品川区大井1-20-6

取材時期:2017年7月

お問い合わせ

E-mail dcs-info@princeton.co.jp

輸入販売代理店

株式会社プリンストン URL <http://www.princeton.co.jp/>

PolycomおよびPolycomのロゴ、また、polycom, Inc.の米国およびその他の国における商標です。本紙に掲載している会社名と製品名は米国またはその他の国における商標登録です。本紙に掲載している製品写真は出荷時のものの一部異なる場合があります。本紙の本文内ではTMマークや®マークは明記していません。